

放射能時代を生き抜くために

映画上映会 in 白石のご案内

- 「低線量被曝とは」今中哲二さんインタビュー
- 「汚染の中で生きる - チェルノブイリから学ぶこと -」河田昌東さんインタビュー

日時：2011年8月1日（月）午後6時～

18:00～ 今中哲二「低線量被曝とは」

19:00～ 河田昌東「汚染の中で生きる」

上映後、森の映画社の藤本幸久監督を囲んで意見交換

森の映画社 <http://america-banzai.blogspot.com/>

会場：白石市中央公民館 2F 視聴覚室

(宮城県白石市字寺屋敷前 25-6 TEL 0224-22-1343)

入場無料ですが、会場費捻出のため、カンパ大歓迎です！
予約はいりません。直接会場へお越しください。

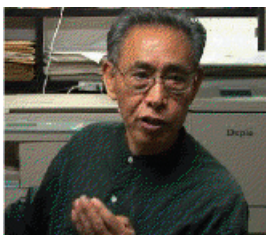


★上映作品紹介★

< 原発震災・ニュースリール > 原発震災・ニュースリール No.7 (51分)

「汚染の中で生きる - チェルノブイリから学ぶこと -」

移住も出来ぬまま、汚染地に取り残されたチェルノブイリの被災者。25年後の今も続く深刻な健康被害。農業再生と地域復興を目指す「菜の花プロジェクト」。汚染の中でどう生きてゆくのか。



2011年5月13日インタビュー お話：河田昌東さん

チェルノブイリ救援 中部・理事。専門は分子生物学、環境科学。チェルノブイリ原発事故の被災者への支援に20年来、取り組む。2006年から、土壌から放射能を除去し、農業復興による地域再生を目指す「菜の花プロジェクト」を開始。現在、福島県内でも精力的に調査、実践活動中。

< 原発震災・ニュースリール > No.8 (54分)

「低線量被曝とは」

政府の避難基準・20ミリシーベルト。100ミリシーベルト以下の低線量では「健康被害は確認されていない」というのは、本当なのか。低線量被曝のリスクを詳細に解説。



2011年6月21日インタビュー お話：今中哲二さん

京都大学原子炉実験所・助教。チェルノブイリ原発事故の放射能災害研究の第一人者。福島原発事故後の3月28～29日、飯舘村で空中放射線および土壌の放射線調査を行い、飯舘村へ通う。

< 主催&問い合わせ先 >

「子どもを放射能から守るみやぎネットワーク」代表 太田茂樹

電話 0224-76-2015 メール soya@k2.dion.ne.jp

